

ゼミナール ミクロ経済学入門



[ゼミナール ミクロ経済学入門_ 下载链接1](#)

著者:岩田 規久男

出版者:日本経済新聞出版社

出版时间:1993-2-1

装帧:精装

isbn:9784532130305

個人や企業の経済活動を分析するのがミクロ経済学。現実経済の仕組みを解説し、改善するという経済学の初心に立ち返り、様々な具体例を交えながら、徹底的に平易に解説。

作者介绍:

岩田 規久男（いわた きくお）

学習院大学経済学部教授。1942年生まれ。東京大学経済学部卒業、同大学院修了。上智大学経済学部教授を経て、1998年より現職。

＜主な著書＞『昭和恐慌の研究』（編著、第47回日経・経済図書文化賞受賞）、『経済復興』、『デフレと超円高』、『ユーロ危機と超円高恐慌』ほか多数。

目録: はしがき

序章 ミクロ経済学の課題

第I部 消費と生産

第1章 需要と供給

第2章 価格の変化と価格弾力性

第3章 消費者の選択

第4章 消費需要の決定要因

第5章 短期の生産と費用

第6章 完全競争企業と短期の供給

第7章 長期の供給と市場均衡

第8章 完全競争均衡の性格

第9章 価格支配力と独占

第10章 独占的競争と寡占

第II部 生産要素の価格

第11章 労働と賃金

第12章 土地と地代

第13章 資本の価格と生産要素の相対価格

第III部 市場の効率性と限界

第14章 資源配分と所得分配

第15章 市場機構の限界と政府の役割

第IV部 時間と不確実性

第16章 貯蓄・投資と実質利子率の決定

第17章 不確実性と危険負担

第18章 情報と制度・組織

参考文献

索引

・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[ゼミナール ミクロ経済学入門 下载链接1](#)

标签

ミクロ経済学 経済理論

评论

[ゼミナール ミクロ経済学入門_ダウンロード1](#)

书评

[ゼミナール ミクロ経済学入門_ダウンロード1](#)